

令和6年度 魅力ある教育課程を目指す取組

立川市立上砂川小学校 学校運営協議会

項目	提言した内容	学校の具体的取組	目標とするレベル	結果	評価
学力の向上	○これまでに成果のあった内容の充実 ・算数の習熟度別指導	○全学年で習熟度別算数を展開	○東京ベーシックドリルの平均正答率5ポイントアップ。	○全学年で5ポイント以上の向上が達成できた。	A
	・認知機能を高める取組	○毎週金曜日の朝の時間に加え、月に2回月曜日の朝の時間を活用	○「授業が分かる」と回答する児童を80%	○94%の児童が肯定的回答、教員の70%が効果あったと回答	A
	○一人一人が学びに向かえる手立て	○授業に個別最適な「学びの時間」を導入	○「学びが楽しい」と回答する児童を80%	○93%の児童が肯定的回答	A
	○習ったこと使い、学ぼうとする意欲を高める取組	○立川市民科（地域探検、玉川上水学）、TGG、起業家教育プログラムのなどの体験活動を展開	○「地域で学ぶことが楽しい」と回答する児童を80%	○82%の児童が肯定的回答	A
ウェル・ビーイング	○平日に余裕をもった業務が行える取組	○標準時数に近い授業時間 ○金曜日5時間授業で会議等なし ○水曜日は定時退庁 ○7月24日～31日4時間授業	○「授業の質を高めることにつながった」と回答する教員を90%	○90%の実感には満たない。	B

その他	【課題】 ○学校予算の効率化	【解決策】 ○削減できる項目の検討	○お便り等のペーパーレス化 ○物価高騰を受け、費用対効果で私費会計予算を見直し	○連絡アプリ tetoru の活用で削減 ○他に置き換えられる教材の使用や校外学習先の選定などで、私費の水準をほぼ維持	A
	○人事異動	○公募人数の拡大	○公募6名以上	○本校への異動希望者6名、内3名が公募に応募	B

検証の評価基準

- A 効果がみられ、継続して取り組むべきレベル
- B 一部に効果がみられるが、取り組みの改善をする必要があるレベル
- C 全面的に見直す必要のあるレベル